

# 窓

京都新聞 令和2年(2020年)7月8日(水)

## 制圧では差別なくならぬ

伏見区・渡部 那菜(大学生・20)

終わらない差別に対し、人々は叫び訴えている。5月25日に起きた悲しい事件について、もはや知らない人は少ない。どうしてジョー・ジさんは殺されなければならなかったのか。ジョー・ジさんの首を、膝を使って地面へ押し付けていたの

は、44歳の白人警官であるが、彼は過去の発砲事件で3回、警察の内部調査を受けていた。なぜ人は、人を差別するのか。

事件から10日以上たってからも抗議デモは米国各地で続いていた。トランプ大統領は6月1日、激化するデモを「国内テロ」と位置づけ、米軍投入まで言及した。ホワイトハウス前で催涙ガスが使われたこともあり、与野党から批判が出ているようだ。

トランプ氏は、催涙ガスを使って平和的なデモ参加

者を制圧するべきだったのか。私の意見はノーだ。どんなに時間や手間が掛かろうが、皆が尊重しあえる社会や世界にならない限り、「差別」という概念はなくなる。

人が人を差別するのに本当は理由などない。トランプ氏は法と秩序だけを尊重し、人々の心の叫びに耳を傾けなかった。人々は叫び続ける。差別は今日も生き続けるだろう。